



公益財団法人

杉浦記念財団

2025年度活動報告書

住み慣れた地域で
自分らしく暮らし続けるために



おかげさまで杉浦記念財団は、 今年設立15周年を迎えます



公益財団法人 杉浦記念財団
理事長 評議員会長

杉浦 昭子 杉浦 広一

私たち「公益財団法人杉浦記念財団」は、2026年9月に設立15周年を迎えることとなりました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

スギ薬局創業当初より、私たちは様々な地域課題に取り組んできましたが、時を経る中で、私たちへのそうした期待が着実に高まっていることに気づきました。地域のために他にもできることがあるのではないかとにかく人のためにもっと何かをしたい、という強い気持ちが自分たちの中で湧き上がってくるのを感じていました。

この想いを原点に、それを形にすべく二人で立ち上げたのが、「一般財団法人杉浦地域医療振興財団」でした。主事業として杉浦地域医療振興賞（杉浦賞）、および杉浦地域医療振興助成（杉浦助成）、スギ薬局グループとの共催による健康増進セミナー、そして多くの先生方のご参画を得て医療課題の研究会等を発足させ、活動を開始しました。そして2015年7月には公益認定を受け、「公益財団法人杉浦記念財団」に改称いたしました。

昨年度で14回を数えた杉浦賞・助成は、全国各地から多数のご応募をいただいております。社会的にも高く評価されています。健康増進セミナーについては、これまで80回以上の開催、参加者総数も延べ4万人規模となるまでに成長、地域の輪を広げています。

設立15年とはいえ、まだまだ至らぬところもございます。引き続き皆様のご指導ご鞭撻をいただきながら、地域社会に貢献して参りたいと考えております。

団体概要

私たちの
使命

『住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために』
皆で生きる、長生きを喜ぶ、笑顔で生きる。

誕生から高齢期まで、多様な社会活動の支援ならびに健康を育む人材教育を通じ、地域貢献を目指します。地域共生社会の実現に向けて活動する、個人・団体を支援しています。

役員等 (五十音順・敬称略) 2026年2月1日現在

理事長



杉浦 昭子

スギホールディングス株式会社
相談役

副理事長



杉浦 伸哉

スギホールディングス株式会社
代表取締役副社長

理事



秋下 雅弘

地方独立行政法人
東京都健康長寿医療センター
理事長
東京大学名誉教授

理事



大島 伸一

国立研究開発法人国立長寿
医療研究センター 名誉総長
日本福祉大学 理事

理事



亀井 浩行

名城大学薬学部
病院薬学研究室 教授

理事



高瀬 義昌

医療法人社団至高会 理事長
たかせクリニック 院長
公益財団法人日米医学医療交流財団 会長

理事



山村 恵子

藤田医科大学
大学院医療科学研究科
客員教授

監事



加藤 克彦

加藤克彦
公認会計士税理士事務所 所長

監事



林 伸一

林 伸一
公認会計士税理士事務所 所長

評議員会長



杉浦 広一

スギホールディングス株式会社
顧問

評議員



荒井 秀典

国立研究開発法人
国立長寿医療研究センター
理事長

評議員



倉田 なおみ

昭和医科大学
薬学部 社会健康薬学講座
社会薬学部 臨床薬学講座
臨床栄養代謝学部門 客員教授

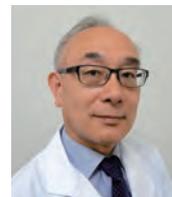
評議員



杉浦 克典

スギホールディングス株式会社
代表取締役社長

評議員



鈴木 匡

名古屋市立大学
特任教授

評議員



高橋 紘士

東京通信大学名誉教授
高齢者住宅協会顧問
全国居住支援法人協議会顧問
全国日常生活支援住居施設協会顧問
全国ホームホスピス協会理事

評議員



田中 滋

埼玉県立大学 理事長
慶応義塾大学 名誉教授

評議員



辻 哲夫

一般財団法人
医療経済研究・社会保険福祉協会
理事長

評議員



伴 信太郎

中津川市地域総合医療センター
センター長
愛知医科大学 医学教育センター
特命教育教授

名称

公益財団法人 杉浦記念財団
(英語名: The Sugiura Memorial Foundation)

所在地

〒474-0011
愛知県大府市横根町新江62番地の1

ホームページ

<https://sugi-zaidan.jp>

設立

2011年9月1日(2015年7月1日公益認定)

事業

- (1) 地域医療・福祉の振興に関わる活動等に対する助成、褒賞
- (2) 地域医療・福祉の振興に係る社会実験への助成、参画
- (3) 医師、薬剤師、看護師等の医療従事者及び福祉従事者その他の人材の育成事業及び当該事業に対する助成、褒賞
- (4) 医学・薬学・看護学・福祉学・社会保障等に関する研究・調査事業及び当該事業に対する助成、褒賞
- (5) 医薬品の研究・開発に対する助成、褒賞
- (6) その他当財団の目的を達成するために必要な事業



理事長
杉浦 昭子

地域医療に貢献し、 明日の“笑顔”を増やすために

二人で語り合った財団設立の構想

おかげさまで財団を設立して15年が経とうとしています。もう15年が過ぎた」というのが正直な気持ちです。

杉浦広一と杉浦昭子とで、2011年に立ち上げたのが「一般財団法人杉浦地域医療振興財団」(2015年に現在名に改称)です。目指すところは、文字通り「地域医療の振興支援」でした。当時は、地域医療の重要性が指摘されており、少しでも担い手の方たちを応援したいという想いをこの名称に込めたのです。

スギ薬局はその頃、既に800店舗規模のドラッ

グストアチェーンとなっており、他社に先行して在宅医療や多職種連携にも着手していたこともあって、「地域から様々な期待が高まっているのを感じる。他にも何か地域医療のお役に立てないものか」と二人で日々、語り合っていたのです。そこである時、私から「地域医療の進展に時間がかかるならば、我々自身で地域医療振興を支援する運営母体をつくってはどうか」と提案したところ、杉浦顧問もすぐに賛同してくれたのです。それが始まりでしたし、その時の想いは決して忘れてはならないことだと思っています。

大島先生のご協力を得て

設立に際しては、国立長寿医療研究センター総長(現名誉総長)であられた大島伸一先生に全面的なご指導をいただきました。

思い立つとすぐに動きたくなる性分なので、さっそく先生にご相談にうかがうと、幸いにも

財団の設立経緯と趣意

私ども夫婦は、1976年12月、医薬品・健康食品・化粧品・日用品の販売および処方せん調剤を目的に掲げる薬局を愛知県西尾市に開設して以来、「地域のかかりつけ薬局」としてスギ薬局を育てて参りました。幸運にも、皆様の多大なるご支援をいただき、たくさんのお客様・患者様にご利用いただける企業に成長させていただきました。

スギ薬局グループが創業35周年を迎えた2011年9月1日に、それまでのご支援に報いるため、社会貢献という形で少しでもお役に立ちたいとの想いから、杉浦広一・杉浦昭子を設立人として「一般財団法人 杉浦地域医療振興財団」を設立いたしました。そして2015年7月1日には公益認定を受け、名称を「公益財団法人 杉浦記念財団」に改めました。

これを機に、地域包括ケアシステムの実現に向けて活動する個人・団体を支援する活動を継続することに加え、認知症問題や介護予防の分野でも、幅広く社会のお役に立てる活動を推進して参ることにいたしました。

今後とも、皆様のご指導ご鞭撻をいただきながら、一つひとつ実績を積み重ねて参る所存ですので、引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



毎年の授与式会場となっている帝国ホテル東京 多大なるご支援に感謝の意を込めて(2025年度 感謝状贈呈式・懇親会にて)



前向きなお返事をいただくことができたのです。ちょうどご自身も今後、都市部での在宅医療のあり方が大きな社会問題になっていくとお考えだったこととも合致したようです。

そして財団は、杉浦地域医療振興賞(杉浦賞)・振興助成(杉浦助成)を柱に、研究会の運営、健康増進セミナーの実施なども併せてスタートしましたが、大島先生のおかげで、研究会の運営はとてもスムーズに運びましたし、杉浦賞には初年度から想定以上の応募が集まりました。もちろん、その後も順調に推移しています。「何よりもすべては社会のために」が大島先生の基本哲学ですが、全く共感するところであり、尊敬してやまないお一人です。

「どんな時も楽しむ」に徹した15年間

財団が発足して間もなく、2013年から開始された「健康増進セミナー」は、既に80回以上の開催実績となり、昨年は年間1万人規模のご参加を得るまでになりました。どの会場もとても盛り上がっています。これは各地域の皆様、健康に関する正しい基礎知識や情報を楽しんでいただきたという想いで始めたものですが、個人的には、毎回会場に直接足を運んでくださるたくさんの皆様の笑顔に出会えることもとても楽しみにしています。皆様も、ぜひご参加ください。

これまでの15年を振り返った時、皆様からはよく「さぞかし大変だったでしょう」と言われるのですが、そんなことは本当に感じたこともなく、むしろ「とにかく楽しんでここまで来た」というのが実感です。財団運営のために全国を飛び回り、何百人という方々にお会いし、たくさんの方のことを学ばせていただきました。セミナー

会場では、何人もの皆さんが気軽に声をかけてくださいます。そういう方々に喜んでいただけること。笑顔に出会えること。そして自分もそれ以上に笑顔になれること。どんな時もポジティブに楽しむこと。これが私の幸せであり、原動力なのです。

世の中は人生100年時代を迎えています、当財団としてはこれを機に、今後ますます重要性が増す地域包括ケアシステムの円滑な稼働に向けて、支援・研究活動にさらに力を入れていくつもりです。でも、「それを楽しみ、意欲的に取り組んでいきたい」という想いはこの先も変わらないでしょう。



国立長寿医療研究センター前で大島伸一先生と

杉浦地域医療振興賞(杉浦賞)／振興助成(杉浦助成)

◎地域医療貢献の活動に光を当てる褒賞・助成

国民の健康と生活の向上に優れた成果を収め、住み慣れた地域で安心して、その人らしく住み続けることを支援する活動を行った団体・個人の取り組みについて、その主体者を対象にします。地域医療貢献に尽力する人々の活動に光を当てることで、全国に活動の機運が広がること、また奨励・促進する環境を醸成することを目的とします。



第1回(2012年)募集用のチラシ



晴れやかに行われる杉浦賞授与式



研究会

◎超高齢社会の諸課題をテーマに具体策討議

「誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らし続ける」ための地域包括ケアシステム、多職種連携などを題材に、各分野の研究者や専門家が定期的に集い、熟議し具体的な提言につなげる取り組みです。財団の発足と同時に活動を開始しました。テーマとしては例えば、「都市部における看護介護医療のあり方」「地域包括ケアにおける医薬品の適正使用」、さらに「長生きを喜ぶためのまちづくりとは何か」といったところまで、社会課題を幅広く取り上げています。これまでに4つの研究会が活動しており、その成果は講演録や活動報告としてまとめ、配布しています。



愛知県地域再生・まちづくり研究会の様子



地域包括ケアにおける医薬品適正使用協働研究会の様子



都市型の看護介護医療等連携研究会の様子



健康増進セミナー（スギ薬局グループと共催）

◎4万人が参加する話題の健康啓発イベント

地域の皆様に病気の早期発見・治療や介護予防の大切さをお伝えすることを目的に、中部、関東、関西などの会場を結び、開催しています。2023年からは全国主要拠点のネットワーク中継を取り入れ、開催規模をより拡大しています。現在延べ約80回の開催で参加者総数は約4万人を数えます。会場で専門スタッフが行う健康相談も好評です。

2013年の第1回ポスター



多数の参加者が集うセミナー会場と健康相談の様子

フォーラム&シンポジウム

◎研究成果をわかりやすく発信する場として

研究会活動から派生する形で、一般向けに様々なフォーラムやシンポジウムを主催・共催しています。例えば、2019年9月には「高齢者とくすりのフォーラム」を開催し、薬の副作用やのみ間違い、残薬などの問題を取り上げ、理解を訴えました。愛知県地域再生・まちづくり研究会の活動の一環としては、2016年から22

年までの間に、数百人規模の「長生きを喜べるまちづくりシンポジウム」を5回にわたって開催しました。また、認知症医療・介護の動向を踏まえて認知症への理解を促す「認知症医療介護推進フォーラム」（主催：国立長寿医療研究センター、認知症医療介護推進会議）は2014年から現在までの8回を共催しています。



長生きを喜べるまちづくりシンポジウムの様子/2019年



認知症医療介護推進フォーラムの様子/2026年

これまでの主な取り組み

7月1日、公益認定「公益財団法人 杉浦記念財団」に改称

年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018		
杉浦賞・杉浦助成		第1回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞4者) (杉浦助成7者)	第2回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞3者) (杉浦助成12者)	第3回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞3者) (杉浦助成13者)	第4回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞5者) (杉浦助成14者)	第5回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞5者) (杉浦助成13者)	第6回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞4者) (杉浦助成20者)	第7回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞5者) (杉浦助成19者)		
研究会	都市型の看護介護医療等連携研究会／第1期 ●4月～15年6月(33回開催) 第1期「都市型の看護介護医療等連携研究会」発足 テーマ：あるべき姿の議論～課題と問題点を中心に～ 				第2期 ●8月～17年10月(13回開催) 第2期テーマ：認知症の人がより良く生きていける社会の実現を目指す 		第3期 ●1月～19年3月(8回開催) 第3期テーマ：常に進化し続ける地域包括ケアシステムの概念と実態 			
					愛知県地域再生・まちづくり研究会／第1期 ●4月～18年5月(32回開催) 「愛知県地域再生・まちづくり研究会」発足 		第2期 ●6月～24 ●9月 第2回「長生きを喜べるまちづくりシンポジウム」 テーマ：真の高齢問題は40年後にみる		●9月 第3回「長生きを喜べるまちづくりシンポジウム」 テーマ：高齢社会を生き抜く秘訣	
					地域包括ケアにおける医薬品適正使用協働研究会 ●10月～25年12月(61回開催) 「地域包括ケアにおける医薬品適正使用協働研究会」発足 		健康寿命延伸と介護予防を考える会 ●16年9月～19年12月(16回開催) 「健康寿命延伸とサブテーマ：70代、			
健康増進セミナー	健康増進セミナー ●4月 第1回「健康増進セミナー」開催(兵庫県) 				●3月～(25回開催) 健康増進セミナー 「ごきげんに年を重ねる秘訣」 		●6月～(7回開催) 「いつになっても元気で活動しよう」		●3月～(5回開催) 「50代からの健康増進セミナー」 ●9月～ 「いつまでもハツラツと元気でいよう」	●4月～(8回開催) 「いつまでも元気で過ごそう」
フォーラムその他	●7月 市民公開講座「認知症セミナー」開催(名古屋) ●10月 一般公開セミナー「超高齢社会における地域連携」開催(東京)		●2月 認知症医療介護推進フォーラム 「認知症でも地域で穏やかに暮らすために1」 		●2月 認知症医療介護推進フォーラム 「認知症でも地域で穏やかに暮らすために2」		●2月 認知症医療介護推進フォーラム 「時機に対応した認知症医療・介護への取り組み」		●2月 認知症医療介護推進フォーラム 「認知症の人と社会のかかわり」	●2月 認知症医療介護推進フォーラム 「意欲をもって地域で暮らすために」

9月1日「一般財団法人杉浦地域医療振興財団」設立

2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
第8回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞5者) (杉浦助成22者)	第9回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞5者) (杉浦助成20者)	第10回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞3者) (杉浦助成16者)	第11回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞3者) (杉浦助成15者)	第12回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞3者) (杉浦助成15者)	第13回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞4者) (杉浦助成14者)	第14回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞3者) (杉浦助成14者)
第4期 ●5月～22年11月(16回開催) 第4期テーマ：地域包括ケアシステムの深化 ～生活支援を含む複合サービスが地域を支える～				第5期 ●1月～11月(6回開催) 第5期テーマ：子どもと地域包括ケアシステム ～子どもと高齢者のふれあい支援、医療的ケア児支援、障害児ケアと障害者ケア～	第6期 ●3月～9月(4回開催) 第6期テーマ：診療所や訪問看護による在宅医療を支える多彩な機能一病院・歯科医療。薬局などの活動を探る	第7期 ●1月～11月(5回開催) 第7期テーマ：～医療介護分野におけるDX進展状況を学ぶ～

年3月(51回開催)

●9月
第4回「長生きを喜べるまちづくりシンポジウム」
テーマ：未来の生き方改革



●10月
第5回「長生きを喜べるまちづくりシンポジウム」
テーマ：人生100年時代



介護予防を考える会」発足
80代を元気に乗り越える為に



講演の様子が『薬剤師のためのインターネット研修』の研修講座として視聴できます




●4月～(3回開催)
「健康増進セミナー」



●8月～(3回開催)
「健康増進セミナー」
3密を回避・3元ネットワーク開催

●4月
「健康増進セミナー」



●2月～(3回開催)
「健康増進セミナー」

●6月～(3回開催)
「健康増進セミナー」
京都など加え9元ネットワーク開催、1700人参加



●1月～(4回開催)
「健康増進セミナー」
開催数を増やし、総参加者数も7000人超えに拡大



●3月～(4回開催)
「健康増進セミナー」
全国で9000人以上が参加、高評価の声も多数に



●2月
認知症医療介護推進フォーラム
「これからの認知症施策～本人、家族にとって、本当に必要なもの～」

●3月
コロナ禍で医療施設など1100カ所にマスク寄贈



●4月
日本赤十字社「ウクライナ人道危機救援金」に1000万円を寄付

健康増進セミナー（スギ薬局グループと共催）

全国で9000人以上が参加、高評価の声も多数に

2025年度は、アグネス・チャンさん、増田明美さん、鎌田實先生、山田邦子さんなど親近感のある著名タレントや医療従事者による講演が好評で、毎回2000名以上のご参加をいただきました。同時に実施された健康測定会は、多くのお客様で行列ができ、協賛メーカーによる展示ブースも盛況でした。

◎2025年度 [3月16日(日)]

場所	テーマ／講師	参加人数
7会場（埼玉県さいたま市、東京都千代田区、東京都港区、愛知県大府市、愛知県名古屋市、大阪府大阪市、石川県金沢市）	『明るくさわやかに生きる～がんに負けない社会を～』 アグネス・チャンさん 歌手・エッセイスト・教育学博士(Ph.D)	2251名
	『ドラッグストアで健康になろう』 杉浦 伸哉（公財）杉浦記念財団副理事長、(株)スギ薬局代表取締役副社長、スギメディカル(株)代表取締役社長	



杉浦昭子 理事長



杉浦伸哉 副理事長




ご参加いただいた皆様の声

- 想像をはるかに超え参考になりました。家族に近い症状もあり気を付けていこうと思いました。
- ご自身の体験を聞かせていただき、検診の重要性や闘病中の心のバランスの取り方など参考になりました。
- 育児で忙しくつい自分のことは後回しになってしまっていますが、子どもたちのためにもがん検診に行こうと思いました。
- 貴重なご経験のお話が、大変参考になりました。早期発見、早期治療の重要性、命の大切さがよくわかりました。これからも、ためになるセミナーの企画開催をお願いしたいと思います。
- 生命の大切さと、日々の健康意識と健康管理を再実感しました。



[6月15日(日)]

場所	テーマ／講師	参加人数
7会場（埼玉県さいたま市、東京都千代田区、東京都港区、愛知県大府市、愛知県名古屋市、大阪府大阪市、石川県金沢市）	『体の健康、心の健康』 増田 明美さん スポーツジャーナリスト・大阪芸術大学教授	2453名
	『ドラッグストアで健康になろう』 杉浦 伸哉 (公財)杉浦記念財団副理事長、(株)スギ薬局代表取締役副社長、スギメディカル(株)代表取締役社長	



2025年度の活動



杉浦昭子 理事長



杉浦伸哉 副理事長



ご参加いただいた皆様の声

- 失敗も勉強に！人は1人では生きていけないというフレーズに感動しました！
- 笑いを集め幸せを数える！心身の健康に大切な話が良かったです。
- 健康に気をつけるために足腰を鍛えないとなと思いました。知好楽、私も気に入りました。
- 講演内容はとてもわかりやすく、また楽しく聴くことができました。これからの人生の心と身体の健康について考える良い機会になりました。
- 楽しい健康セミナーでした。熱中症と脱水症状と熱射病の違いもよくわかって、参考になりました。
- 運動は習慣にする事、水分は運動している時だけでなく前後も必要な事やタンパク質は朝食、昼食、夕食と毎食分けて食べる事等とても大事なお話をして頂き改めて生活習慣を見直していきたいと思いました。

※各QRコードから動画等もご覧いただけます。

[9月21日(日)]

場所	テーマ／講師	参加人数
7会場（埼玉県さいたま市、東京都千代田区、東京都港区、愛知県大府市、愛知県名古屋市、大阪府大阪市、石川県金沢市）	『笑って健康と幸せをつかむ鎌田式健康法～時間栄養学・親切は体にいい・朝タン朝ベジのすすめ～』 鎌田 實 先生 医師／作家、諏訪中央病院名誉院長、地域包括ケア研究所 所長、「がんばらない介護生活を考える会」代表	2366名
	『中高年女性の認知症予防も含めたヘルスケア』 小池 浩司 先生 医師、小池レディスクリニック院長、日本補完代替医療 学会理事、元金沢大学医学部 産科婦人科学准教授	
	『ドラッグストアで健康になろう』 杉浦 伸哉 (公財)杉浦記念財団副理事長、(株)スギ薬局代表取締役副社長、スギメディカル(株)代表取締役社長	



小池浩司 先生



杉浦昭子 理事長



杉浦伸哉 副理事長




ご参加いただいた皆様の声

- 介護士をしています。一人暮らしの方がとても多く話し相手を欲しがっていることがよくわかります。社会的フレイルをどう解決するかは高齢化社会の大きな問題だと思います。
- 今日からまた健康に気をつけようと思えるので、きっかけをいただけるセミナーを開いていただきありがとうございます。
- 認知症予防には今から大切だと気がついた。筋力低下に気をつけて生活したいです。
- 自己決定の尊重を改めて実感できました。フレイル予防の一番が社会参加であることは学びになりました。
- 脳と腸の相関があるとは知りませんでした。よく勉強になりました。

[11月16日(日)]

場所	テーマ／講師	参加人数
7会場（埼玉県さいたま市、東京都千代田区、東京都港区、愛知県大府市、愛知県名古屋市、大阪府大阪市、石川県金沢市）	『大丈夫だよ、がんばろう!』 山田 邦子 氏 お笑いタレント	2027名
	『ドラッグストアで健康になろう』 杉浦 伸哉 (公財)杉浦記念財団副理事長、(株)スギ薬局代表取締役副社長、スギメディカル(株)代表取締役社長	



ご参加いただいた皆様の声

- 健康であることの大切さ、重要さは病気になって初めて気がつく。日頃からの健康づくりについて知識を与えてくれるこのセミナーが非常にありがたく思います。
- 女性だけでなく、男性更年期障害について夫の変化を理解するベースとなりました。
- PMSの話や症状改善・対策に効く漢方などが知れたのが良かったです。
- いつも必ず何か1つは納得・理解できる事柄があるので、とても楽しみにして参加しています。これからは機会がある限り参加したいと思ってます！
- 初めて参加させていただきましたが、普段意識してなかった内容が多く、改めて自分の身体に向き合うきっかけになりました。

※各QRコードから動画等もご覧いただけます。

2025年度の活動

第14回 杉浦賞 (杉浦地域医療振興賞)

高齢者に寄り添う視点と実践力で受賞



杉浦昭子 理事長



大島伸一 先生

杉浦賞には全国から54件の応募があり、審査委員の先生方の厳正な選考の結果、3件が選ばれました。「食べる力」や「フレイル予防」「住民同士の新たな自助・互助システム」といった独自の取り組みが評価されました。高齢社会が急進する中で、どの活動も地域医療にとって重要、かつ示唆に富んだ内容と言えます。全国レベルの取り組みも含まれており、成功事例としての広がりも期待されます。



内容は報告集としてまとめ、毎年刊行されています

杉浦賞審査委員

[審査委員長]

大島 伸一 氏

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉総長／日本福祉大学 理事

[委員]

秋山 弘子 氏

東京大学 名誉教授／東京大学高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター 客員教授

飯島 勝矢 氏

東京大学高齢社会総合研究機構 機構長・未来ビジョン研究センター 教授

辻 哲夫 氏

一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 理事長

宮島 俊彦 氏

日本製薬団体連合会 理事長／岡山大学 客員教授／元 厚生労働省老健局長／元 内閣官房 社会保障改革担当室長

多職種で地域住民の食べる力を支援する「食力の会の活動」

食力の会

【地域医療貢献のポイント】

- 施設の枠を越えて多職種で集まることで、医療、介護施設、在宅療養に共通した食に関わる情報をまとめ、地域に還元することができた。
- 平時からの多職種の連携が災害時の支援活動に役立ち、継続している。



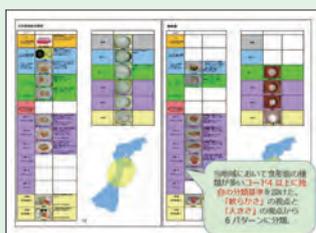
食力(しょくりき)の会／2011年に多職種が集いつくられた、地域の食支援について活動を共にするボランティア組織。能登半島地震後も口腔機能評価・指導と食生活の維持・改善に従事している



介護食・震災食の料理教室



訪問診療先での多職種連携



食形態マップ



七尾市健康福祉まつり



仮設住宅の支援



市民対象セミナー



高齢住民主体による健康長寿と幸福長寿のまちづくり「絆」プロジェクト ～ウェルビーイング向上につながるフレイル予防を軸とする『新たな住民同士の自助・互助システム』構築～ NPO法人全国フレイルサポーター連絡会連合会

【地域医療貢献のポイント】

フレイルとは、加齢に伴い心身の活力が低下し、要介護状態になるリスクが高くなった状態を指す。多面的（身体的・精神心理的・社会的）な要素の負の連鎖で悪化していくが、適切な日常生活の工夫によって、まだ可逆性のある段階である。



全国フレイルトレーナーの集い（ハイブリッド式開催）



住民主体フレイルチェック活動～生きがいを感じる地域貢献活動～



フレイルサポーター活動全国展開養成システム



フレイルサポーター地域ブロック別の集い（高知県ハイブリッド開催）



地域活動に自分で来られなくても安心「自宅訪問フレイルチェック」（茨城県常陸太田市）

住民に分かりやすく伝えるサポーターの独自性（上：サポーター自作の寸劇（福岡県飯塚市）、下：フレイル予防川柳（千葉県京橋市））

2025年度の活動

住民同士の助け合いで高齢者の暮らしを支える介護保険制度外サービス 認定特定非営利活動法人 東灘地域助け合いネットワーク

理事長 村山 メイ子 氏

【地域医療貢献のポイント】

ヘルパー不足が深刻な介護業界に比べ、住民の担い手は増えている。その理由は、資格不要、年齢制限なし、隙間時間の活用、小遣い稼ぎ、そして何よりも、担い手の生きがいにつながっているからだ。自分に役割がほしい。人の役に立つことが介護予防につながっている。

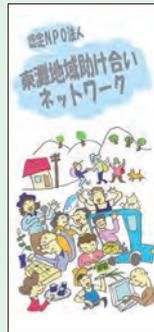


病院の薬を自宅までお届け

自宅訪問で安否確認



看板 地域でつながるたすけあう



居場所の雰囲気かわかるイラスト



朝のゴミ出しと掃除



お困りごとを解決する仕組み

※各QRコードから動画等もご覧いただけます。（受賞者の所属・役職は受賞当時）



杉浦助成
選考委員

[選考委員長]

荒井 秀典 氏 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 理事長

[委員]

大原 弘隆 氏 名古屋市立大学 医学部附属西部医療センター 病院長

片山 陽子 氏 香川県立保健医療大学 保健医療学部 看護学科
副学長、研究科長、学生部長、教授

鈴木 匡 氏 名古屋市立大学 特任教授 名誉教授

高瀬 義昌 氏 医療法人社団至高会 理事長 たかせクリニック 院長

平井 みどり 氏 神戸大学 名誉教授 / 京都大学 大学院医学研究科
特任教授

堀 美智子 氏 医薬情報研究所株式会社エス・アイ・シー
取締役 医薬情報部門責任者

藤田 あゆみ 氏 株式会社スギ薬局 医薬営業本部 中部営業
統括部 中部営業二部

松本 晴年 氏 元 名古屋市立大学院 薬剤部 調剤主査

活動分野

僻地における

腹膜透析・腎移植後患者の遠隔医療支援体制の構築…………… H

◎西沢 慶太郎 氏

札幌医科大学 内科学講座 循環病態内科学分野 代謝・腎臓内科学部門 助教

地域で「病い」と「生きる」を考える場を創る活動

あなたの街に「ちやいむ」…………… I

◎山田 裕子 氏

日本看護協会認定がん看護専門看護師・がん化学療法看護認定看護師
日本音楽療法学会認定音楽療法士

骨格に意識をむけ、それをあるがままに感じるからだを育む

マインドフルネス活動…………… J

◎山本 卓資 氏

近畿大学 大学院薬学研究科 院生

オーラルフレイル予防を目的とした安全な食品選択プロジェクト…………… K

◎刀祢 順子 氏

朝日大学 歯学部 口腔病態医療学講座 摂食嚥下リハビリテーション学分野 非常勤助教

ケアラズカフェ

～ケアする人はケアされるべき人～…………… L

◎辻 百合 氏

ボランティア団体にじいる (株式会社伴TOMO) 代表

医療的ケア児が地域で当たり前の暮らしができるように
支援する多職種ネットワーク活動

「在宅で医療的ケア児を育てる家族の災害対策を一緒に
考えよう!」…………… M

◎宮崎 つた子 氏

三重県立看護大学 地域交流センター長 小児看護学 教授

ひきこもり者の社会参加支援及びひきこもり支援従事者
研修による作業療法士のひきこもり支援への参画拡大に
関する取り組み…………… N

◎児嶋 亮 氏

一般社団法人京都府作業療法士会 ひきこもり支援OTチーム 代表

2025年度の活動

腹膜透析・腎移植後患者の遠隔医療支援体制 H

遠隔カンファレンス
ネットワークを構築
おこなう地域別地域
Kizuna webによる
遠隔診療支援
連携医療システム
Kizuna web (遠隔医療連携)
シェアソース (日本赤十字社)
日本赤十字社
日本赤十字社
日本赤十字社

シェアソースによる
遠隔モニタリング

実施される施策:
・専門診療へのアクセス確保
・統計機能、QOLの向上
・遠隔医療の推進
・地域医療スタッフの能力向上
・他地域、他分野への展開

I

L

M

J

テリヤキバーガー K

商品名	テリヤキバーガー
総カロリー	477kcal
タンパク質	14.5g
脂質	30.2g
炭水化物	37.5g
食物繊維	1.7g
食塩	2.1g
コメント	比較的やわらかく、食べやすいと思います。レタスが難関なので外してソースのたっぷりかかっている所を頂くとお難易度が下がります。

N

※各QRコードから動画等もご覧いただけます。(受賞者の所属・役職は受賞当時)

研究会

1 都市型の看護介護医療等連携研究会



都市に住む高齢者が、住み慣れた地域で暮らし続けることを前提にそれを支援するための多職種協働のあるべき姿について議論を重ね、地域の急激な高齢化に対応する、安心して生活できる普遍的な都市（東名阪）モデルの処方せんの作成を目指します。

第7期 ～医療介護分野におけるDX進展状況を学ぶ～

[座長] 埼玉県立大学 理事長／慶応義塾大学 名誉教授 [期間] 2025年1月～2025年11月（5回開催）

◎2025年度

田中 滋 氏

回数	開催日	テーマ／講師
第1回	1月16日（木）	「2040年に向けた地域共生社会構築：東大看護目白台プロジェクト構想を題材として」 山本 則子 氏 東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻／高齢者在宅長期ケア看護学／緩和ケア看護学分野 教授
第2回	3月 6日（木）	「急激な高齢化に対応する移動支援！ DXの推進で、地域の課題は地域の子カラで解決する」 北嶋 史誉 氏 一般社団法人ソーシャルアクション機構／ソーシャルムーバー株式会社 代表取締役
第3回	5月15日（木）	「湖山医療福祉グループの歩みと今後の展望」 湖山 泰成 氏 湖山医療福祉グループ代表
第4回	7月10日（木）	「2040年の都市部の高齢期の住まい ～魅力ある集住を目指して～」 井上 由起子 氏 日本社会事業大学専門職大学院 教授
9月配信限定		「多職種協働で取り組む口腔保健活動と食支援 ～平時の連携強化が有事を救う～」 長谷 剛志 氏 公立能登総合病院 歯科口腔外科 部長／金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科 外科系医学領域顔面口腔外科学分野
第5回	11月13日（木）	「これからの要支援高齢者のフレイル予防」 河野 あゆみ 氏 大阪公立大学大学院看護学研究科 看護学専攻 教授

2 地域包括ケアにおける医薬品適正使用協働研究会



地域包括ケアの中で、医薬品適正使用の観点からチーム医療における協働を進めます。特に高齢者の多剤服用の適正化に焦点を当て、実施体制の確立を目指します。

[座長] 地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 理事長

秋下 雅弘 氏

◎2025年度

回数	開催日	テーマ／講師
第57回	2月12日（水）	「日本版抗コリン薬リスクスケールの作成と今後」 溝神 文博 氏 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 薬剤部／長寿医療研修部 高齢者薬学教育研修室長
第58回	4月16日（水）	「在宅緩和ケア（がん患者）における薬剤師の役割」 笠原 庸子 氏 秋本クリニック地域医療連携室（薬剤師）
第59回	6月11日（水）	「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2025の策定とその概要」 小島 太郎 氏 国際医療福祉大学 医学部老年病学 教授 社会福祉法人 邦友会 国際医療福祉大学 成田老年医療福祉センター センター長／同 介護老人保健施設オルトンシア 施設長
8月配信限定		「ポリファーマシー対策アプローチの1つとしての患者中心のケア」 石井 充章 氏 北海道科学大学 薬学部薬学科 臨床薬学部門 薬物治療学分野 講師／筑波大学 医学医療系 客員研究員
第61回	10月 8日（水）	「高齢者医療の質を高める処方の見直し ～ポリファーマシー対策で見える患者中心の医療～」 島崎 良知 氏 地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 薬剤科長
第61回	12月17日（水）	「高齢者薬物療法の適正使用の取り組み」 柴田 ゆうか 氏 日本大学薬学部 薬剤師教育センター／日本大学大学院薬学研究科 教授

※各QRコードから動画等もご覧いただけます。

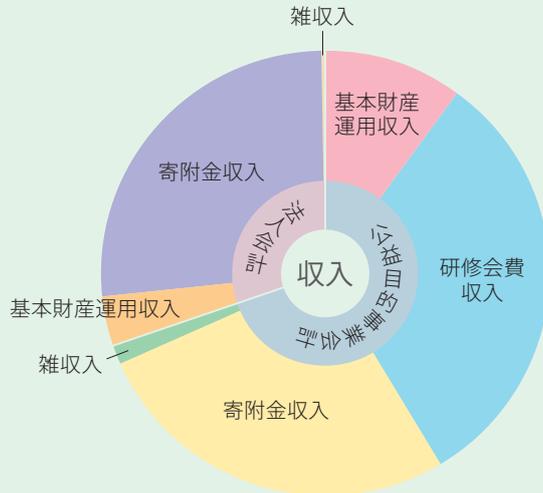
財務会計報告 (2025年度)

多くのご支援をありがとうございます。当財団は、皆様からのご支援・ご協力をいただきながら活動を続けています。2025年度(1～12月)の収支は以下の通りです。

■収入

(単位：円)

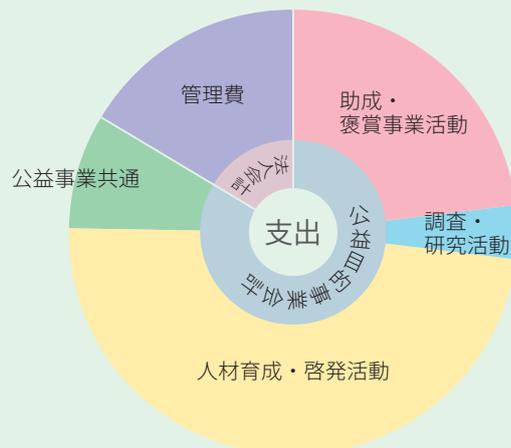
公益目的 事業会計	基本財産運用収入	11,172,338
	研修会費収入	34,334,368
	寄附金収入	29,728,653
	雑収入	1,418,299
	小計	76,653,658
法人会計	基本財産運用収入	4,000,000
	寄附金収入	29,033,347
	雑収入	157,921
	小計	33,191,268
合計		109,844,926



■支出

(単位：円)

公益目的 事業会計	事業費 〔地域医療・ 福祉振興事業〕	助成・褒賞事業活動	24,879,722
		調査・研究活動	3,978,245
		人材育成・啓発活動	52,023,269
		公益事業共通	8,772,422
		小計	89,653,658
法人会計	管理費	17,433,996	
合計		107,087,654	



2025年度の活動

●多数の企業にご支援をいただきました。

アース製菓株式会社、アイオニック株式会社、有限会社アイケイワイ、株式会社アイスコ、愛知県経済農業協同組合連合会、アイリスオーヤマ株式会社、アイリスフーズ株式会社、株式会社浅田飽、アサヒ飲料株式会社、旭化成ホームプロダクツ株式会社、旭食品株式会社、朝日メインテナンス工業株式会社、味の素冷凍食品株式会社、アスト株式会社、アズフィット株式会社、アポラスキャリア株式会社、株式会社アライン、株式会社アラクス、株式会社あらた、アリナミン製菓株式会社、株式会社アルファ、アルフレッサヘルスケア株式会社、株式会社EMシステムズ、株式会社伊勢半、株式会社井田両国堂、イチジク製菓株式会社、イデシゴロ株式会社、株式会社伊藤園、井藤漢方製菓株式会社、伊藤ハム販売株式会社、いなばベッテッド株式会社、インターコスメ株式会社、株式会社ウエルネスジャパン、株式会社宇津木産業、株式会社unerry、株式会社宇野設計、株式会社エイジス、エーザイ株式会社、エースコック株式会社、江崎グリコ株式会社、エステー株式会社、エスピー食品株式会社、エムイーレック株式会社、株式会社近江兄弟社、オーエムネットワーク株式会社、株式会社大木、株式会社太田胃散、大塚食品株式会社、株式会社大山、株式会社オノコム、株式会社おやつカンパニー、オリヒロ株式会社、貝印株式会社、花王グループカスタマーマーケティング株式会社、カゴメ株式会社、加藤産業株式会社、株式会社カナオコーポレーション、カネミ製菓株式会社、カネミ製菓株式会社、カルビー株式会社、河津株式会社、合同会社河内建築計画事務所、関西フローズン株式会社、カンダコーポレーション株式会社、救心製菓株式会社、キューピー株式会社、協和薬品工業株式会社、株式会社キンカン、クラシエフーズ販売株式会社、クラシエホームプロダクツ販売株式会社、クラシエ食品株式会社、株式会社黒ばら本舗、株式会社ケーエスケ、株式会社KOT、株式会社湖池屋、株式会社高速、興和株式会社、コーセー化粧品販売株式会社、コーセーコスメポート株式会社、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社、小林製菓株式会社、小林薬品工業株式会社、コンフェックス株式会社、相模ゴム工業株式会社、坂元醸造株式会社、佐川印刷株式会社、サトウ食品株式会社、佐藤製菓株式会社、株式会社サニクリーン、サラヤ株式会社、三甲株式会社、三幸製菓株式会社、参天製菓株式会社、サントリーフーズ株式会社、サンヨー食品販売株式会社、株式会社CBCテレビ、株式会社CBCラジオ、JA全農たまご株式会社、株式会社J-オイルミルズ、J-NET株式会社、資生堂ジャパン株式会社、ジャベル株式会社、粧美堂株式会社、昭和紙工株式会社、株式会社シロク、株式会社新東通信、スジャータめいらく株式会社、株式会社スズケン、スノーデン株式会社、ゼリア新薬工業株式会社、センコー株式会社、泉南乳業株式会社、全業販売株式会社、株式会社そごう・西武、株式会社外林、ソフトバンク株式会社、第一三共ヘルスケア株式会社、大王製紙株式会社、大幸薬品株式会社、大日産業株式会社、大日本印刷株式会社、大日本除虫菊株式会社、大鵬薬品工業株式会社、高末株式会社、株式会社タカソノ、タカノフーズ株式会社、株式会社タリヤ、チェックポイントジャパン株式会社、中京テレビ放送株式会社、中日販売株式会社、テーブルマーク株式会社、株式会社デジタルワレット、株式会社アスク、株式会社寺岡精工、株式会社電響社、株式会社店研創意、デンタルプロ株式会社、東海ラジオ放送株式会社、東芝テック株式会社、東邦薬品株式会社、東洋水産株式会社、株式会社トカーン、富田薬品株式会社、株式会社名古屋カード、株式会社なとり、株式会社ナリス化粧品、ニチバン株式会社、株式会社ニチレイフーズ、ニッセン文具株式会社、日清シスコ株式会社、日清食品株式会社、日清食品冷凍株式会社、株式会社日清製粉ウエルナ、日本電気株式会社、株式会社日本アクセス、日本酒類販売株式会社、日本製紙クレシア株式会社、日本中央交通株式会社、日本ハムマーケティング株式会社、日本流通システム株式会社、ネスレ日本株式会社、パール金属株式会社、ハウス食品株式会社、はごろもフーズ株式会社、株式会社バスクリン、株式会社ハナノキ、ハマダコンフェクト株式会社、株式会社バリューネットワーク、株式会社PALTAC、万協製菓株式会社、株式会社ビーライトネオ、ビジョン株式会社、ビスキューブ・コンサルティング株式会社、株式会社Human Resource Design、株式会社平賀、株式会社ファイントゥデイ、株式会社ファンケル、株式会社フェース、株式会社富士、株式会社藤栄、フジパン株式会社、株式会社富士フィルムヘルスケアラボラトリー、フマキラー株式会社、株式会社ブルボン、プレミアアンチエイジング株式会社、株式会社Basic、ホーユー株式会社、ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社、株式会社マイナビ、株式会社毎日放送、株式会社誠商会、株式会社マスパック、丸大食品株式会社、丸富製紙株式会社、マルハニチロ株式会社、株式会社マンダム、三井物産流通グループ株式会社、三菱食品株式会社、株式会社三宅建築設計事務所、明星食品株式会社、株式会社明治、明治フレッシュネットワーク株式会社、株式会社MediCaree、株式会社メニコン、持田ヘルスケア株式会社、森永乳業株式会社、八神商事株式会社、株式会社ヤクルト本社、ヤマキ株式会社、山崎製パン株式会社、株式会社山屋、山本漢方製菓株式会社、UAゼンセンス薬局ユニオン、コースキン製菓株式会社、株式会社USEN、株式会社ユープ、雪印メグミルク株式会社、ユニチャーム株式会社、株式会社ユヤマ、養命酒製造株式会社、横山製菓株式会社、株式会社読売IS、ライオン株式会社、理研ビタミン株式会社、株式会社LIHA、株式会社リブドゥコーポレーション、レック株式会社、ロート製菓株式会社、ロジステッド中部株式会社、株式会社ロッテ、株式会社ワイ・ヨット、わかもと製菓株式会社、株式会社ワコーパレット、ワシズ機械株式会社(企業名五十音順) ※告知媒体掲載を希望された企業のみ掲載しております。

これまでの活動記録

杉浦賞受賞者一覧 (2012～2024年度)

第1回 杉浦賞受賞者 (2012年度)



- 群馬県における地域リハと認知症の地域医療・リハ・ケア連携システムの構築：群馬リハネットとぐんま認知症アカデミーの活動

山口 晴保 氏

ぐんま認知症アカデミー 代表幹事
群馬県地域リハビリテーション協議会 委員長
群馬リハビリテーションネットワーク 副理事長

- 庄内地域医療連携の会の活動

瀬尾 利加子 氏

庄内地域医療連携の会 事務局長 (所属：鶴岡協立病院 地域医療連携室)

- 歯科医師・歯科衛生士と在宅医療連携拠点が構築する医科歯科連携促進

川越 正平 氏 / 山口 朱見 氏

医療法人財団千葉健愛会 あおぞら診療所

- 薬剤師の診察前面談から始まる新たな薬局機能の開発～ワーファリン服用患者のPT-INR管理の情報共有システム～

山村 恵子 氏

愛知学院大学 薬学部 教授

第2回 杉浦賞受賞者 (2013年度)



- 地域包括支援センターを核とした、高齢者見守りネットワーク構築～おた高齢者見守りネットワークの活動～

中村 一孝 氏

おた高齢者見守りネットワーク 代表

澤登 久雄 氏

おた高齢者見守りネットワーク 発起人
大田区地域包括支援センター入新井 センター長
社会医療法人財団仁会 牧田総合病院 医療福祉部 兼 在宅医療部 部長

- 慢性疾患セルフマネジメントプログラムを通じた多職種連携の取り組み

伊藤 雅治 氏

特定非営利活動法人日本慢性疾患セルフマネジメント協会 理事長

- 新しい地域医療の創出にむかって—21世紀のプライマリ・ヘルス・ケアを礎として考える

本田 徹 氏

浅草病院 医師 / 特定非営利活動法人シェア=国際保健協力市民の会 代表理事

第3回 杉浦賞受賞者 (2014年度)



- 若年認知症の人と家族のネットワーク構築に向けて地域で支援する活動

高見 国生 氏

公益社団法人認知症の人と家族の会 代表理事

- 地域多職種との地域包括ケアシステム勉強会を積み重ねて

内海 眞 氏

独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院 病院長

- 在宅慢性呼吸不全患者に対する訪問看護を中心とした地域連携による包括的呼吸ケアの展開

大平 峰子 氏

北信ながいき呼吸体操研究会
独立行政法人国立病院機構 東長野病院

第4回 杉浦賞受賞者 (2015年度)



- 地域の特性に応じた認知症初期支援体制構築の支援

粟田 主一 氏

東京都健康長寿医療センター研究所
自立促進と介護予防研究チーム 研究部長

- 名古屋市医師会の在宅医療・介護連携の取り組みについて：

「在宅医療・介護連携支援センター」

「在宅医療・介護支援システム」

「名古屋市在宅医療・介護連携ガイドライン」

真野 寿雄 氏

一般社団法人名古屋市医師会 在宅医療・介護連携担当理事

- 地域包括ケアの要となる訪問看護の提供基盤を支える取り組み～訪問看護ネットワーク支援システムの構築と運用支援～

佐藤 尚子 氏

公益社団法人香川県看護協会 訪問看護ネットワーク センター長

- 自分たちの健康は自分たちで守る—ライフケアシステム35年の経験から

辻 彼南雄 氏

一般社団法人ライフケアシステム 代表理事
水道橋東口クリニック 院長
高齢者を支える学際的チームアプローチ 推進ネットワーク 理事長
日本在宅ケア学会 副理事長

- 患者協働の医療の実現に向けて～医療者・患者がともに学ぶ場を街につくる～

患医ねっとペイシェントサロン



第1回



第2回



第3回



第4回

第5回 杉浦賞受賞者 (2016年度)



■ オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築
京都地域包括ケア推進機構

■ 佐久農村医療から被災地石巻の地域包括ケアへ
～いのちを大事にする社会を目指して～

長 純一 氏

石巻市立病院開成仮診療 所長／石巻市包括ケアセンター長

■ ケアマネジャーが孤立しないために、なにより燃え尽きないために、
そしてお互いが学び合い育ち合うために

白木 裕子 氏

株式会社フジケア 取締役社長

■ 専門職として住み慣れた地域で安心して
その人らしく住み続ける支援をする活動を広げる

村田 美穂子 氏

一般社団法人滋賀県介護福祉士会 会長
特定非営利活動法人宅老所心 理事長

■ すべての人々に有益な健康増進運動の普及・啓発をスローガンに
超高齢社会の救世主となるべく

「メディカルノルディック・ウォーキング」の確立に全力を注ぐ!!

木村 健二 氏

一般社団法人全日本ノルディック・ウォーク連盟

第6回 杉浦賞受賞者 (2017年度)



■ 共生社会の創造と熊本地震支援

小笠原 嘉祐 氏

特定非営利活動法人おーさぁ 理事長
社会福祉法人リデルライトホーム 理事長
特定医療法人社団 ビネル会ピネル記念病院 理事長
熊本県社会福祉法人経営者協議会 会長

■ 認知症とともに生きる本人が、
ともによりよく生きる社会を創り出すことを目的に活動を展開

日本認知症ワーキンググループ

■ 口腔ケアの国民への普及

—「口腔ケアの日」を通じて知ってもらいたいこと—

夏目 長門 氏

愛知学院大学歯学部附属病院 教授 医学博士 歯学博士
日本口腔外科学会 指導医、日本口腔ケア学会 指導医

■ 長年にわたる在宅患者への訪問看護実践・訪問看護を推進する
看護人材育成と訪問看護の普及活動

内田 恵美子 氏

株式会社日本在宅ケア教育研究所 代表取締役

第7回 杉浦賞受賞者 (2018年度)



■ 新宿区における若者自殺うつ予防活動

特定非営利活動法人 Light Ring.

■ 失語症者の地域生活を支援する ～途切れない支援をめざして～

愛知県失語症会話パートナーの会

特定非営利活動法人あなたの声

■ 都市部とへき地診療所の融合モデル—今後の地域包括ケアモデルとして

医療法人ゆうの森 たんぼぼ俵津診療所

■ 超高齢社会に対応できる「在宅訪問管理栄養士」の
人材育成と活動のしくみづくり

公益社団法人愛知県栄養士会

在宅医療・介護委員会

■ 子どもから高齢者まで幅広い世代の食生活を地域で支援するしくみの開発と普及

平野 覚治 氏

老人給食協会ふきのとう 代表
社会福祉法人ふきのとうの会 理事長
一般社団法人全国食支援活動協会 専務理事

第8回 杉浦賞受賞者 (2019年度)



■ がん患者のアピアランス(外見) サポート活動

特定非営利活動法人

全国福祉理美容師養成協会(NPOふくりび)

■ 生活者の想いに寄り添う地域包括ケアの構築

地域包括ケア支援システム『ナラティブブック秋田』

一般社団法人由利本荘医師会

■ 生きづらさを抱える少女・若年女性に対する多角的な支援

一般社団法人若草プロジェクト

■ 東日本大震災被災地における長期メンタルヘルス
支援活動

特定非営利活動法人

心の架け橋いわて

■ 全世代対象対応型拠点 おおもり語らいの駅 事業

澤登 久雄 氏

社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院
地域ささえあいセンター センター長



第5回



第6回



第7回



第8回

※各QRコードから動画等もご覧いただけます。(受賞者の所属・役職は受賞当時)

第9回 杉浦賞受賞者 (2020年度)



■ 地域包括ケアと災害医療対策

千葉県野田保健所

松本 良二 氏 千葉県野田保健所 所長

■ 視覚障害者などに対する食に関する情報の提供と食育の推進

公益財団法人すこやか食生活協会

中川 坦 氏 公益財団法人 すこやか食生活協会 理事長

■ ゆるくて楽しい歩行圏コミュニティづくり

富山大学歩行圏コミュニティ研究会

中林 美奈子 氏 富山大学 学術研究部 医学系地域看護学講座 准教授
富山大学歩行圏コミュニティ研究会 代表

■ 地ストーマ保有者が暮らしやすい社会をめざした活動
～“わからない”を笑顔のある生活へ～

特定非営利活動法人

ストーマ・イメージアップ・プロジェクト

土田 敏恵 氏 特定非営利活動法人 ストーマ・イメージアップ・プロジェクト 代表

■ あいりんのおっちゃんと共に生きる

社会福祉法人石井記念愛染園

あいりん地域総合相談窓口

高市 里美 氏 社会福祉法人石井記念愛染園 あいりん地域総合相談窓口

第10回 杉浦賞受賞者 (2021年度)



■ まちっこプロジェクト

松戸市医師会健康啓発委員会

川越 正平 氏

■ 訪問看護を基盤とした地域共生社会への支援

一般社団法人南区医師会

南区医師会訪問看護ステーション

高砂 裕子 氏 管理者

■ 「あした晴れますように」認知症の人の家族介護者向け教室 (通称:あすはれ教室)

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター

もの忘れセンター

認知症心理社会的支援プロジェクトチーム

櫻井 孝 氏 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター もの忘れセンター センター長

清家 理 氏 同外来研究員

竹内 さやか 氏 同認知症看護認定看護師

第11回 杉浦賞受賞者 (2022年度)



■ 団地を一つの大きな家族に

株式会社ぐるんとびー

特定非営利活動法人ぐるんとびー

菅原 健介 氏 株式会社ぐるんとびー 代表取締役

■ 東日本大震災後の心のケア ～地域で取り組む多職種チームのキセキ～

特定非営利活動法人相双に新しい精神科医

療保健福祉システムをつくる会

米倉 一磨 氏 相馬広域こころのケアセンターなごみ センター長

■ 在宅で生活する医療的ケア児とその家族を支える多職種ネットワーク連携活動

宮崎 つた子 氏 e-ケアネットよっかいち 代表

第12回 杉浦賞受賞者 (2023年度)



■ 静岡県中東遠地区の6市町5病院の連携による
家庭医の養成

静岡家庭医養成協議会

■ 「食べることは生きること」食を通して高齢者
が高齢者を支えあう生きがいづくり

NPOひまわり会

大石 鈴子 氏 同会代表

■ 地域の救急システムの整備

上原 淳 氏 川越救急クリニック 院長



第9回



第10回



第11回



第12回

第13回 杉浦賞受賞者 (2024年度)



■ 岡山県医師会移動会会長室事業

「若者世代へのACP・人生会議普及啓発」

公益社団法人 岡山県医師会

■ 日本の看取りを支える「看取り士」の重要性

一般社団法人日本看取り士会

柴田 久美子 氏 同会会長

■ ヒアリングフレイル予防と対策における啓発活動

NPO法人日本ユニバーサル・サウンドデザイン協会

■ 「話すことは生きること」コミュニケーションによる

シニアと子ども両面からの少子高齢社会課題解決モデル構築

特定非営利活動法人声とことばの力



第13回

※各QRコードから動画等もご覧いただけます。(受賞者の所属・役職は受賞当時)

杉浦助成対象者一覧 (2012～2024年度)

第1回 杉浦助成対象者 (2012年度)

数井 裕光 氏	大阪大学 大学院医学系研究科 精神医学教室 講師	今津 嘉宏 氏	港区在宅緩和ケア研究会 会長
高瀬 佳苗 氏	福島県立医科大学 看護学部 准教授	番匠 千佳子 氏	聖隷浜松病院 看護部
五十嵐 中 氏	東京大学 大学院薬学系研究科 医薬政策学 特任助教	立石 容子 氏	大阪府訪問看護ステーション協議会 理事
富樫 敦 氏	公立大学法人宮城大学 事業構想学部 デザイン情報学科 教授		

第2回 杉浦助成対象者 (2013年度)

平川 仁尚 氏	名古屋大学大学院医学系研究科附属クリニカルシミュレーションセンター 病院助教	成田 有吾 氏	三重大学 医学部 看護学科 教授
富樫 敦 氏	公立大学法人宮城大学 事業構想学部 デザイン情報学科 教授	阪野 静 氏	特定非営利活動法人がん患者サポート研究所「きぼうの虹」保健師
小嶋佳代子 氏	西尾市民病院 看護師 地域医療連携室 室長	川嶋 みどり 氏	一般社団法人日本で・あーて、TE・ARTE、推進協会
阿部 泰之 氏	旭川医科大学病院 緩和ケア診療部 副部長	野崎 園子 氏	兵庫医療大学 リハビリテーション学部 大学院医療科学研究科 教授
平林 久幸 氏	医療法人ライフサポート わたらせリハビリサイドクリニック 理事長	倉賀野 穰 氏	株式会社モバイルカザス 代表取締役
平原 佐斗司 氏	東京ふれあい医療生活協同組合 梶原診療所 副理事長 在宅サポートセンター長	金子 康彦 氏	独立行政法人国立長寿医療研究センター 栄養管理部 栄養管理室長

第3回 杉浦助成対象者 (2014年度)

井階 友貴 氏	福井大学 医学部 地域プライマリケア講座 講師	成田 光江 氏	国際医療福祉大学
宮田 康好 氏	長崎大学病院 泌尿器科 腎移植外科 准教授	内田 信之 氏	特定非営利活動法人あがつま医療アカデミー 理事長 原町赤十字病院 副院長
小野 理恵 氏	群馬大学医学部附属病院 薬剤部	松浦 尊磨 氏	多可赤十字病院 院長
清家 理 氏	京都大学こころの未来研究センター 上廣こころ学研究部門 助教	安井 浩樹 氏	名古屋大学 大学院医学系研究科 地域医療教育学講座 准教授
任 和子 氏	京都大学 大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 教授	石川 朗 氏	神戸大学 大学院保健学研究科
野中久美子 氏	東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム	石井 麻有子 氏	千葉大学環境健康フィールド科学センター
高見 清美 氏	学校法人大阪滋慶学園 大阪保健福祉専門学校		

第4回 杉浦助成対象者 (2015年度)

荒井 國三 氏	金沢大学 医薬保健研究域薬学系 教授	大久保 健作 氏	社会医療法人社団 大久保病院 理事長
西川 満則 氏	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 地域医療連携室長 緩和ケア診療部 EOLケアチーム 医師	増田 昌人 氏	琉球大学医学部附属病院がんセンター センター長 診療教授
中村 一孝 氏	おおた高齢者見守りネットワーク 代表	渡邊 浩一郎 氏	大分県厚生農業協同組合連合会 鶴見病院 腫瘍内科部長
鈴木 恵子 氏	ボランティアグループ すずの会 代表	田中 貴子 氏	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 保健学専攻 理学・作業療法学講座 助教
野村 秀樹 氏	医療法人あいち診療会 あいち診療所野並	湯本 哲郎 氏	星薬科大学薬学教育研究センター 薬剤師職能開発研究部門 准教授
松田 幸久 氏	金沢医科大学総合医学研究所プロジェクト研究センター 精神神経科学 特定職員 (ポストドクター)	古屋 聡 氏	山梨市立牧丘病院
荒井 秀典 氏	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 副病院長	山下 和彦 氏	東京医療保健大学 医療保健学部 医療情報学 教授

第5回 杉浦助成対象者 (2016年度)

齊藤 正樹 氏	札幌医科大学アドミッションセンター 講師(兼)神経内科学 脳神経外科	太田 亜里美 氏	新潟県立大学 人間生活学部 健康栄養学 准教授
大澤 匡弘 氏	名古屋市立大学 大学院薬学研究科 神経薬理学分野	石丸 美奈 氏	千葉大学 大学院看護学研究科 准教授
久保田 洋子 氏	日本薬科大学 教授	赤津 裕康 氏	名古屋市立大学 大学院医学研究科 地域医療教育学 特任教授
平井 みどり 氏	神戸大学医学部附属病院 薬剤部 教授・部長	井上 真一郎 氏	岡山大学病院 精神科神経科 助教
山田 清文 氏	名古屋大学医学部附属病院 教授・薬剤部長	柴田 龍宏 氏	久留米大学 医学部 内科学講座 心臓・血管内科学部門 助教
安部 陽子 氏	日本赤十字看護大学 准教授	西尾 美登里 氏	福岡大学 医学部 看護学科 助手 看護学博士
朝田 隆 氏	東京医科歯科大学脳統合機能研究センター 認知症研究部門 特任教授		

※詳しくは杉浦記念財団ホームページをご確認ください。(対象者の所属・役職は助成当時)

第6回 杉浦助成対象者 (2017年度)

下村 裕見子 氏	北里大学 医学部 精神科学	安部 恵 氏	一般社団法人松戸市薬剤師会 理事 日本大学薬学部薬剤師教育センター 准教授
菊池 守 氏	下北沢病院 病院長	阿真 京子 氏	一般社団法人知ろう小児医療守ろう子ども達の会 代表
瀧 愛美 氏	三重県立看護大学 大学院看護学研究科 生涯看護学分野 小児看護領域 大学院生	嶋澤 順子 氏	東京慈恵会医科大学 医学部 看護学科 地域看護学
岩瀬 弘明 氏	京都橘大学 健康科学部 理学療法学科	児嶋 亮 氏	一般社団法人京都府作業療法士会 精神科分野勉強会 ひきこもり支援ワーキンググループ 代表
石川 翔吾 氏	静岡大学 情報学部	北 和子 氏	とよあしネットワーク 成田記念病院 透析室 看護師
宮里 実 氏	琉球大学 大学院医学研究科 医科学専攻 腎泌尿器外科学 講座	宮崎 つた子 氏	公立大学法人三重県立看護大学 地域交流センター センター長 小児看護学 教授
清野 諭 氏	東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健 地域保健研究チーム 研究員	神植 達也 氏	アイン薬局浦和店 薬剤師
野中 久美子 氏	東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健 研究チーム	柴田 弘子 氏	難病支援研究会 代表、産業医科大学 産業保健学部 教授
融 衆太 氏	新渡戸記念中野総合病院 神経内科部長	金子 真理子 氏	東名古屋病院 整形外科 (チームだるま)
横山 和仁 氏	順天堂大学 医学部 衛生学講座 教授	桑原 直行 氏	対馬市いづはら診療所

第7回 杉浦助成対象者 (2018年度)

井上 里加子 氏	岡山県立大学 保健福祉学部 栄養学科	福澤 恵 氏	茨城県立医療大学 大学院保健医療科学研究科
田上 佑輔 氏	医療法人社団やまと やまと在宅診療所 登米 院長	小山 善哉 氏	長崎市見通丸医歯 歯科医師
松田 幸久 氏	福山市立大学 都市経営学部 准教授	保里 恵一 氏	愛知県厚生農業協同組合連合会 知多厚生病院 地域医療福祉連携部長 附属篠島診療所長
泉澤 恵 氏	日本大学 薬学部	水内 義明 氏	NPO法人 健康サロン 代表理事
富樫 敦 氏	公立大学法人宮城大学 事業構想学群 価値創造デザイン 学類 教授	永井 徹 氏	新潟医療福祉大学 健康科学部 健康栄養学科
高村 昭輝 氏	金沢医科大学 医学教育学講座/地域医療学講座 講師	柴本 美佐代 氏	一般社団法人日本エルダーライフ協会 代表理事
宮崎 つた子 氏	公立大学法人三重県立看護大学 小児看護学 教授、 「e-ケアネットよっかいち」代表	西村 善博 氏	神戸大学医学部附属病院 呼吸器内科 特命教授/ 副院長
溝神 文博 氏	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 薬剤部	高山 かおる 氏	一般社団法人足育研究会 代表理事
友田 燁夫 氏	医療法人陽気会 網小医院 院長	谷合 憲明 氏	特定非営利活動法人由利本荘にかほ市民が健康を守る会 理事長
串田 一樹 氏	昭和薬科大学 地域連携薬局イノベーション講座 特任教授		

第8回 杉浦助成対象者 (2019年度)

渡邊 理恵 氏	久留米大学 医学部看護学科 講師	山口 佳小里 氏	国際医療福祉大学 成田保健医療学部 作業療法学科 講師 (作業療法士)
石川 和美 氏	南医療生活協同組合 総合病院南生協病院 看護師	菊谷 則行 氏	任意団体「松戸市の地域活動を推進する会」代表
亀井 智泉 氏	信州大学 医学部 新生児学・療育学講座 特任助教	村田 美保 氏	独立行政法人地域医療機能推進機構 東京城東病院 認知症看護認定看護師
山下 和彦 氏	医療法人社団至高会 たかセクリック 地域医療研究部 部長	谷口 明 氏	いび川農業協同組合 デイサービスセンター清流の里 言語聴覚士
成田 有吾 氏	三重大学 大学院医学系研究科 看護学専攻 教授	奥 健志 氏	北海道大学病院 内科II 講師
上田 和孝 氏	東京大学 大学院医学系研究科 ユビキタス予防医学講座 特任助教	内田 信之 氏	原町赤十字病院 副院長兼第1外科部長
中村 麻弥 氏	鹿児島大学病院 口腔顎顔面センター 口腔外科 医員	井上 真一郎 氏	岡山大学病院 精神科神経科 助教
井上 誠 氏	新潟大学 大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野 教授	大河内 章三 氏	認知症に優しいまちづくり実行委員会 代表
東田 雪絵 氏	名古屋大学 大学院医学系研究科 看護学専攻 博士前期課程2年 医療法人名古屋澄心会 名古屋ハートセンター 看護部	横道 正克 氏	一般社団法人久留米健康くらぶ 理事長
北上 守俊 氏	新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 助教	志賀 悠平 氏	福岡大学病院 循環器内科 講師
寺石 文則 氏	岡山大学病院 消化管外科 講師	矢津 剛 氏	医療法人矢津内科消化器科クリニック 院長

第9回 杉浦助成対象者 (2020年度)

福田 仁 氏	高知大学 医学部附属病院 脳神経外科 特任講師	笹山 哲 氏	京都大学 大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 准教授
岡田 浩 氏	京都大学 大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野 特定講師	串田 一樹 氏	昭和薬科大学 地域連携薬局 イノベーション講座/特任教授
小幡 匡史 氏	合同会社Think Body Japan 代表社員	間辺 利江 氏	名古屋市立大学 大学院医学研究科 次世代医療開発学分野 准教授
河西 千秋 氏	札幌医科大学 医学部 神経精神医学講座 主任教授	西尾 美登里 氏	日本赤十字九州国際看護大学 講師

柳 久子氏 筑波大学 医学医療系 保健医療学域 福祉医療学 准教授
追田 綾子氏 日本赤十字広島看護大学 名誉教授/
はつかいち暮らしと看取りのサポーター
丸岡 弘治氏 介護老人保健施設横浜あおばの里 薬局長
密山 要用氏 東京大学 大学院医学系研究科 医学教育国際研究センター
医学教育学部門 客員研究員
森 安美氏 ゆめ伴プロジェクトin門真実行委員会 総合プロデューサー
(主任介護支援専門員、社会福祉士)
木下 彩栄氏 京都大学 大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 教授

竹内 淳子氏 じゅんちゃん一座 座長(代表)
後藤 みなみ氏 特定非営利活動法人ドリーム 事務局長
五味 達之祐氏 雲南市役所 身体教育医学研究所うなん 研究員(管理栄養士)
原見 美帆氏 一般社団法人メンタルウェルビーイングパートナーズ 理事長
五十嵐 知文氏 札幌市 豊平区西岡・福住地区 在宅医療連携拠点事業推進協議会
(とよひら・りんく) 会長/社会医療法人恵和会 西岡病院 院長
山西 友規氏 訪問看護ステーション相扶 訪問看護師

第10回 杉浦助成対象者 (2021年度)

湊口 信也氏 岐阜市民病院 心不全センター長/岐阜大学 大学院 特任教授
岐阜心臓リハビリテーションネットワーク 代表
夏目 長門氏 一般社団法人日本口腔ケア学会 理事長
三木 啓資氏 立行政法人国立病院機構 大阪刀根山医療センター
呼吸器内科 兼 臨床研究部 呼吸学研究室長
間瀬 広樹氏 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 副薬剤部長
小堀 宅郎氏 大阪大谷大学 薬学部 臨床薬理学講座 助教
小泉 亜紀子氏 関西医科大学 大学院看護学研究科 博士後期課程
林 園子氏 一般社団法人ICTリハビリテーション研究会 代表理事
田附 裕子氏 大阪大学 大学院医学系研究科 准教授

森 亮太氏 いつだれkitchen 代表
琢磨 寛孝氏 一般社団法人宝塚市薬剤師会 理事
阿南 節子氏 医療法人英仁会 大阪プレストクリニック 薬剤部 薬剤師
池谷 啓氏 特定非営利活動法人薬舎 理事長
小野 雅之氏 地域を明るくするリハビリテーション専門職の会 代表
井上 真一郎氏 岡山大学病院 精神科神経科 助教
渡邊 理恵氏 久留米大学 医学部 看護学科 講師
福井 繁雄氏 一般社団法人Life Happy Well 理事

第11回 杉浦助成対象者 (2022年度)

武 ユカリ氏 森ノ宮医療大学 看護学部 看護学科 准教授
宇佐美 琢也氏 名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 整形外科 助教
斎藤 民氏 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 老年社会 科学研究部 部長
末松 三奈氏 名古屋大学 大学院医学系研究科 地域医療教育学講座 特任講師
佐藤 宏樹氏 東京大学 大学院薬学系研究科 特任准教授/
大学院情報学環 准教授
相宮 幸典氏 藤田医科大学 大学院看護学研究科 研究員
菊地 基雄氏 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 教授(診療担当)
岡崎 研太郎氏 九州大学 大学院医学研究院 地域医療教育ユニット 助教

小野 賢二郎氏 金沢大学 大学院医薬保健学総合研究科 脳神経内科学 教授/
認プロジェクトリーダー
今井 崇裕氏 医療法人康仁会 西の京病院 メディカルプラザ薬師西の京
血管外科センター 医師
宮谷 真紀子氏 CLEAR JAPAN 代表
鈴木 渉太氏 奈良県立医科大学附属病院 臨床研究センター 助教
尾形 京子氏 飯岡・永井地域包括支援センター 第二層生活支援コーディネーター 兼 認知症地域推進員
中村 和人氏 山梨大学医学部附属病院 循環器内科学 学部内講師
三瀧 英樹氏 合同会社大石田生活 代表

第12回 杉浦助成対象者 (2023年度)

金澤 由紀子氏 名古屋市立大学 医学部附属西部医療センター 産科病棟 助産師
黒柳 元氏 名古屋市立大学 大学院医学研究科 リハビリテーション医学分野 講師
上田 章人氏 医療法人藤仁会 藤立病院 病院長
村上 英樹氏 名古屋市立大学 大学院医学研究科 整形外科 主任教授
狩谷 明美氏 社会福祉法人旭川荘 旭川荘総合研究所 特別研究部門
海野 光昭氏 社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 新生児科
松田 美南子氏 特定非営利活動法人こもれび相談室 代表理事

川室 優氏 川室記念病院 理事長
生田 国大氏 名古屋大学 医学部附属病院 整形外科 病院講師
山本 卓資氏 近畿大学 大学院薬学研究科 薬剤師
山田 敦氏 京都大学 医学部附属病院 腫瘍内科 特定准教授
福録 恵子氏 三重大学 大学院医学系研究科 看護学専攻 教授
横山 郁子氏 株式会社パーソナル・ナース 代表取締役

第13回 杉浦助成対象者 (2024年度)

富田 尚希氏 東北医科薬科大学 老年・地域医療学 講師
加茂 永梨佳氏 神戸大学 大学院保健学研究科 博士課程 後期課程
佐藤 啓太氏 伊勢赤十字病院 外科 副部長
飯島 勝矢氏 東京大学 高齢社会総合研究機構 機構長/
来未来ビジョン研究センター 教授
原田 美那氏 帝京平成大学 薬学部 助手(博士課程4年)
渡邊 理恵氏 久留米大学 医学部 看護学科 講師
松井 友紀子氏 まついこころのクリニック
石森 直樹氏 特定非営利活動法人北海道心不全医療連携アカデミー 理事長

中司 みずほ氏 高知大学 医学部附属病院 高知県基幹型認知症疾患医療
センター 相談員
池田 由美氏 高知県 若年性認知症相談窓口 若年性認知症支援
コーディネーター
東川 哲朗氏 公益社団法人石川県作業療法士会 会長
南部 路治氏 一般社団法人しなさきリハビリサポート協会 代表理事
森 安美氏 ゆめ伴(とも)プロジェクト in 門真実行委員会 総合プロデューサー
樹山 敏子氏 特定非営利活動法人京都栄養士ネット 代表理事
木内 俊介氏 東邦大学 医学部内科学講座 循環器内科学分野 准教授

※詳しくは杉浦記念財団ホームページをご確認ください。(対象者の所属・役職は助成当時)

健康増進セミナー開催実績 (2013～2024年度)

開催地	開催日	参加人数
2013年度		
兵庫(神戸市)	4月 6日(土)	480名
三重(津市)	5月25日(土)	400名
愛知(名古屋市)	6月16日(日)	800名
京都(京都市)	7月15日(月・祝)	500名
埼玉(さいたま市)	9月 8日(日)	500名
岐阜(大垣市)	10月 5日(土)	460名
滋賀(大津市)	11月 2日(土)	450名
2014年度		
東京(大田区)	1月18日(土)	400名
大阪(大阪市)	2月22日(土)	650名
群馬(前橋市)	3月 9日(日)	650名
兵庫(尼崎市)	4月19日(土)	650名
三重(四日市市)	5月25日(日)	600名
愛知(名古屋市)	6月15日(日)	800名
京都(京都市)	7月19日(土)	500名
埼玉(さいたま市)	9月20日(土)	500名
岐阜(岐阜市)	10月26日(日)	600名
神奈川(横浜市)	11月 1日(土)	500名
2015年度		
東京(文京区)	1月10日(土)	673名
大阪(大阪市)	2月14日(土)	936名
群馬(高崎市)	3月14日(土)	466名
兵庫(神戸市)	4月18日(土)	728名
三重(四日市市)	5月16日(土)	771名
愛知(名古屋市)	6月27日(土)	1,225名
埼玉(さいたま市)	7月 5日(日)	663名
京都(京都市)	9月 6日(日)	647名
岐阜(岐阜市)	10月17日(土)	792名
神奈川(横浜市)	11月 7日(土)	200名
2016年度		
東京(文京区)	1月30日(土)	310名
大阪(大阪市)	2月20日(土)	450名
群馬(高崎市)	3月19日(土)	240名
兵庫(尼崎市)	4月16日(土)	400名
三重(四日市市)	5月21日(土)	490名

開催地	開催日	参加人数
愛知(名古屋市)	6月 5日(日)	700名
埼玉(さいたま市)	7月 2日(土)	330名
京都(京都市)	9月 4日(日)	440名
岐阜(岐阜市)	10月15日(土)	400名
愛知(豊橋市)	11月 6日(日)	330名
2017年度		
東京(文京区)	1月28日(土)	525名
大阪(大阪市)	2月18日(土)	718名
群馬(高崎市)	3月20日(月・祝)	482名
兵庫(神戸市)	4月15日(土)	381名
三重(津市)	5月13日(土)	658名
愛知(名古屋市)	6月17日(土)	596名
埼玉(川越市)	7月22日(土)	466名
京都(京都市)	9月30日(土)	587名
岐阜(岐阜市)	10月28日(土)	735名
2018年度		
東京(大田区)	1月 8日(月・祝)	308名
大阪(大阪市)	2月10日(土)	450名
兵庫(神戸市)	4月 7日(土)	330名
愛知(名古屋市)	5月13日(日)	460名
三重(津市)	6月24日(日)	362名
埼玉(さいたま市)	7月16日(月・祝)	370名
京都(京都市)	9月24日(月・祝)	370名
岐阜(岐阜市)	10月20日(土)	450名
2019年度		
東京(江東区)	1月12日(土)	250名
大阪(大阪市)	2月 3日(土)	620名
兵庫(神戸市)	4月27日(土)	550名
埼玉(さいたま市)	7月14日(日)	545名
京都(京都市)	9月23日(月・祝)	566名
2020年度		
大阪	1月19日(日)	600名
東京	2月 1日(土)	500名
愛知・東京・大阪(3元中継)	8月30日(日)	300名
愛知・東京・大阪(3元中継)	9月27日(日)	500名
愛知・東京・大阪(3元中継)	10月25日(日)	500名

開催地	開催日	テーマ／講師	参加人数
2021年度			
愛知・東京・大阪・石川【4元中継】	4月25日 (日)	健康を保つ方法：内科医のつぶやき 金子 周一 氏 金沢大学附属病院 消化器内科教授／WHO 協力センター長	600名
		地域に貢献する薬局の役割 杉浦 伸哉 杉浦記念財団副理事長／スギホールディングス株式会社 取締役／株式会社スギ薬局 常務取締役／スギメディカル株式会社 取締役	
2022年度			
愛知・埼玉・大阪(2カ所)・石川【5元中継】	2月20日 (日)	腸内細菌と日本食：認知症との深い関係 佐治 直樹 氏 国立長寿医療研究センター もの忘れセンター副センター長	298名
		セルフメディケーションのコツ 蓮実 豊 スギ薬局DI室・御油店／薬剤師・糖尿病療養指導士	
愛知・埼玉・大阪(2カ所)・石川【5元中継】	5月29日 (日)	コロナに負けず「人生100年」を幸せに生きる 鎌田 實 氏 諏訪中央病院名誉院長／地域包括ケア研究所所長／「がんばらない介護生活を考える会」代表	602名
		年代別のダイエット 味岡 一輝 スギ薬局 管理栄養士 人材開発部 医療教育課／藤田医科大学大学院 保健学研究科 学生	
愛知・埼玉・大阪(2カ所)・石川【5元中継】	10月16日 (日)	気をつけたい、多すぎる薬と副作用 秋下 雅弘 氏 東京大学大学院医学系研究科 教授(専門：老年医学、老年薬学)	663名
		薬と上手に付き合おう かぜの薬・胃の薬・腸の薬を中心に 神保 美紗子 スギ薬局DI室／名古屋市立大学大学院 薬学研究科 臨床准教授	
2023年度			
愛知・埼玉・東京・大阪(2カ所)・石川【6元中継】	6月25日 (日)	家庭医・かかりつけ医と一緒に！ 家族まるごと健康づくり 井上 真智子 氏 浜松医科大学地域家庭医療学講座特任教授／静岡家庭医養成プログラム責任者	595名
		かかりつけ薬剤師と健康増進 杉浦 伸哉 スギ薬局 取締役副社長／杉浦記念財団 副理事長／スギホールディングス 取締役副社長	
愛知・埼玉・東京(2カ所)・大阪(2カ所)・京都・石川【8元中継】	9月10日 (日)	腎臓の働き そして薬をたくさん飲むことについて 水野 智博 氏 藤田医科大学 薬物治療情報学 准教授	1556名
		ドラッグストアで健康になろう 杉浦 伸哉 スギ薬局 取締役副社長／杉浦記念財団 副理事長／スギホールディングス 取締役副社長	
愛知(2カ所)・埼玉・東京(2カ所)・石川・大阪(2カ所)・京都【9元中継】	11月19日 (日)	地域で命を支える～健康づくり、在宅ケア、認知症にならない生き方～ 鎌田 實 氏 諏訪中央病院名誉院長／地域包括ケア研究所所長／「がんばらない介護生活を考える会」代表	1690名
		ドラッグストアで健康になろう 杉浦 伸哉 スギ薬局 取締役副社長／杉浦記念財団 副理事長／スギホールディングス 取締役副社長	
2024年度			
愛知(2カ所)・埼玉・東京(2カ所)・大阪(2カ所)・京都【8元中継】	1月21日 (日)	運動と認知機能の同時刺激で転倒を予防しよう 青山 朋樹 氏 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学科 教授	1426名
		ドラッグストアで健康になろう 杉浦 伸哉 スギ薬局 取締役副社長／杉浦記念財団 副理事長／スギホールディングス 取締役副社長	
愛知(2カ所)・埼玉・東京・大阪【5元中継】	4月21日 (日)	ステージIV舌がんが私に学ばせてくれた人生にとって大切なこと 堀 ちえみ 氏 歌手／タレント	1781名
		ドラッグストアで健康になろう 杉浦 伸哉 スギ薬局 取締役副社長／杉浦記念財団 副理事長／スギホールディングス 取締役副社長	
愛知(2カ所)・埼玉・東京・大阪【5元中継】	9月22日 (日・祝)	70歳の壁をぴんぴん元気に越えよう～血管・脳・骨・筋肉の若返り法教えます～ 鎌田 實 氏 諏訪中央病院名誉院長／地域包括ケア研究所所長／「がんばらない介護生活を考える会」代表	2186名
		ドラッグストアで健康になろう 杉浦 伸哉 スギ薬局 取締役副社長／杉浦記念財団 副理事長／スギホールディングス 取締役副社長	
愛知(2カ所)・埼玉・東京・大阪【5元中継】	11月24日 (日)	大丈夫だよ、がんばろう！ 山田 邦子 氏 お笑いタレント	1950名
		ドラッグストアで健康になろう 杉浦 伸哉 スギ薬局 取締役副社長／杉浦記念財団 副理事長／スギホールディングス 取締役副社長	

これまでの活動記録

※講師の所属・役職は講演当時

研究会開催実績 (2012～2024年度)

1 都市型の看護介護医療等連携研究会

第1期	あるべき姿の議論 ～課題と問題点を中心に～	[座長] 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター名誉総長 大島 伸一 氏 [期間] 2012年4月～15年6月 (33回開催)
第2期	認知症の人がより良く生きていける社会の 実現を目指す	[座長] 慶応義塾大学 名誉教授 田中 滋 氏 [期間] 2015年8月～17年10月 (13回開催)
第3期	常に進化し続ける 地域包括ケアシステムの概念と実態	[座長] 慶応義塾大学 名誉教授 田中 滋 氏 [期間] 2018年1月～19年3月 (8回開催)
第4期	地域包括ケアシステムの深化 ～生活支援を含む複合サービスが地域を支える～	[座長] 埼玉県立大学 理事長／慶応義塾大学 名誉教授 田中 滋 氏 [期間] 2019年5月～22年11月 (16回開催)
第5期	子どもと地域包括ケアシステム ～子どもと高齢者のふれあい支援、 医療的ケア児支援、障害児ケアと障害者ケア～	[座長] 埼玉県立大学 理事長／慶応義塾大学 名誉教授 田中 滋 氏 [期間] 2023年1月～23年11月 (6回開催)
第6期	診療所や訪問看護による在宅医療を 支える多彩な機能－病院・歯科医療。 薬局などの活動を探る	[座長] 埼玉県立大学 理事長／慶応義塾大学 名誉教授 田中 滋 氏 [期間] 2024年3月～24年9月 (4回開催)

◎2024年度

回数	開催日	テーマ／講師
第1回	3月21日(木)	「チームで「生きがい」を支える－在宅医療32年の実践から－」 太田 秀樹 氏 医療法人 アスム 理事長
第2回	5月 9日(木)	「ウイリアム・オスラーを乗り越えたのか」 新田 國夫 氏 医療法人社団つくし会 理事長 新田クリニック 院長
第3回	7月18日(木)	「岡山県医師会の地域包括ケアの取り組み」～移動会長室事業を中心に～ 松山 正春 氏 岡山県医師会 会長
第4回	9月12日(木)	「江戸川区を医療・介護・生活支援のモデル地域に～24時間365日当たり前の幸せを守る在宅診療所として」 山中 光茂 氏 医療法人社団しろひげファミリー しろひげ在宅診療所 院長

『都市型の看護介護医療等連携研究会講演録』を制作 (第1期～第4期をvol.1～vol.7までに収録)



2 地域包括ケアにおける医薬品適正使用協働研究会

開催実績

2014年10月～16年12月
19回開催

2018年2月～20年12月
15回開催

2021年2月～23年12月
17回開催

◎2024年度

回数	開催日	テーマ／講師
第52回	2月14日(水)	「ポリファーマシーの実態解明と包括的介入方法の開発」 溝神 文博 氏 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター薬剤部／長寿医療研修センター 長寿医療研修部／高齢者薬学教育研修室長
第53回	4月17日(水)	「生活習慣病の薬物療法とトランスポーターについて」 高田 龍平 氏 東京大学医学部附属病院 薬剤部 教授／薬剤部長
第54回	6月19日(水)	「薬物療法適正化に特化した多面的評価法とCGA -算出する指標を中心に据えた評価・連携方法の構築-」 富田 尚希 氏 東北医科薬科大学 老年地域医療学 講師／東北医科薬科大学病院 総合診療科 講師
第55回	10月16日(水)	「高齢者施設の服薬簡素化提言について」 丸岡 弘治 氏 介護老人保健施設 横浜あおばの里 薬剤部
第56回	12月11日(水)	「高齢者の薬物療法と多職種による包括的支援 -看護師の視点から-」 椛屋 絵理子 氏 大阪大学大学院医学系研究科／保健学専攻 看護実践開発科学講座 助教

3 愛知県地域再生・まちづくり研究会

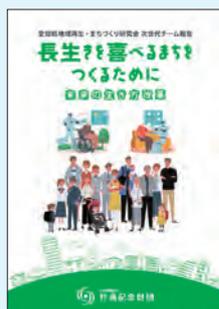
開催実績

[第1期] 2015年4月～18年5月 (32回)

[第2期] 2018年6月～24年3月 (51回)

2024年度

3月1日(金)／第51回 認知症フレンドリーな社会のあり方について



これまでの活動記録

4 健康寿命延伸と介護予防を考える会

2013年に策定された第2次健康日本21では、「健康寿命の延伸」を最重要課題の一つに位置付け、高齢期における健康増進につながる様々な取り組みや、要介護状態を予防するための様々な施策を実行に移しています。

研究会の趣旨

1. 介護予防を必要とする状態にかかわる概念や指標の整理
2. 介護予防施策における予防効果のエビデンスの確立と普及
3. 健康寿命延伸・介護予防の具体的対策における標準プロトコルの提言

【座長】 桜美林大学 老年学総合研究所 所長・大学院教授／国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 理事長特任補佐
鈴木 隆雄 氏

開催実績

2016年9月～19年11月 16回開催

※講師の所属・役職は講演当時

フォーラム & シンポジウム開催実績 (2014～2025年度)

高齢者とくすりのフォーラム

～くすりとの正しい付き合い方をわかりやすくお話します～



荒井 秀典 氏



溝神 文博 氏

多くの薬を服用することで副作用や飲み間違い、残薬などの薬に関する問題が起きる状態（ポリファーマシー）を中心に薬、健康食品、サプリメント等の適正使用への理解を深める講演会を開催いたしました。

主催：公益財団法人 杉浦記念財団

後援：愛知県、名古屋市、一般社団法人愛知県薬剤師会、社会福祉法人愛知県社会福祉協議会、公益社団法人愛知県看護協会

開催地	開催日	テーマ／講師	参加人数
愛知(名古屋市)	2019年9月29日(日)	健康長寿のための正しいお薬の飲み方を考える 荒井 秀典 氏 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 理事長	450名
		ポリファーマシーって知っていますか？ ～高齢者が気をつけたい多すぎるくすり副作用～ 溝神 文博 氏 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 薬剤部	

認知症医療介護推進フォーラム

認知症医療介護の動向を踏まえた多職種連携フォーラム(認知症予防・治療の知識や、認知症への理解を深めることに資する講演、討論等)を計8回開催しています。



主催：国立長寿医療研究センター認知症医療介護推進会議

共催：公益財団法人 杉浦記念財団

後援：愛知県、厚生労働省、国立精神・神経医療研究センター、全国老人福祉施設協議会、全国老人保健施設協会、全日本病院協会、東京都健康長寿医療センター、名古屋市医師会、名古屋市社会福祉協議会、日本医師会、日本介護支援専門員協会、日本介護福祉士会、日本看護協会、日本歯科医師会、日本神経学会、日本精神科病院協会、日本認知症学会、日本認知症グループホーム協会、日本認知症ケア学会、日本認知症本人ワーキンググループ、日本認知症予防学会、日本慢性期医療協会、日本薬剤師会、日本老年医学会、日本老年看護学会、日本老年精神医学会、認知症介護研究・研修センター、認知症の人と家族の会(法人名五十音順)

開催地	開催日	タイトル
愛知(名古屋市)	2014年2月23日(日)	認知症でも地域で穏やかに暮らすために1
東京(千代田区)	2015年2月22日(日)	認知症でも地域で穏やかに暮らすために2
京都(京都市)	2016年2月21日(日)	時機に対応した認知症医療・介護への取り組み
愛知(名古屋市)	2017年2月19日(日)	認知症の人と社会のかかわり
東京(文京区)	2018年2月18日(日)	意欲をもって地域で暮らすために
大阪(大阪市)	2019年2月17日(日)	これからの認知症施策 ～本人、家族にとって、本当に必要なもの～
愛知(名古屋市)	2025年1月26日(日)	認知症の共生と発症・進行抑制に向けた新たな挑戦
愛知(名古屋市)	2026年1月18日(日)	認知症“共生社会の広がり”と“備えの進化”の最新状況

長生きを喜べるまちづくりシンポジウム

～愛知県地域再生・まちづくり研究会の活動の一環として2016年より実施～



開催地	開催日	テーマ／講師	参加人数
愛知(名古屋市)	2016年 5月20日(金)	第1回 長生きを喜べるまちづくりシンポジウム —未来の答えがここにある!— 増田 寛也 氏 日本創成会議 座長	640名
愛知(名古屋市)	2017年 9月22日(金)	第2回 長生きを喜べるまちづくりシンポジウム —真の高齢問題は40年後にくる— 石破 茂 氏 衆議院議員	880名
愛知(名古屋市)	2018年 9月21日(金)	第3回 長生きを喜べるまちづくりシンポジウム —高齢社会を生き抜く秘訣— 中村 秀一 氏 一般社団法人医療介護福祉政策研究フォーラム理事長	800名
愛知(名古屋市)	2019年 9月20日(金)	第4回 長生きを喜べるまちづくりシンポジウム 未来の生き方改革～2040年・2060年に向けて～ 岩瀬 仁紀 氏 スポーツコメンテーター、元中日ドラゴンズ投手	830名
愛知(名古屋市)	2022年10月 2日(日)	第5回 長生きを喜べるまちづくりシンポジウム 人生100年時代 技術がかわる 社会がかわる 人生がかわる 恩田千佐子 氏 中京テレビアナウンサー	500名

第5回シンポジウムより



大島伸一 座長



中京テレビ 恩田千佐子アナウンサー
(ゲスト講演)



杉浦伸哉 副理事長



これまでの活動記録

長生きを喜べるまちづくりシンポジウム ポスター (第1～5回)



※QRコードから動画等もご覧いただけます。(講師の所属・役職は講演当時)

当財団の活動は 皆様からのご寄附に支えられています

ご寄附による支援のお願い

当財団は、2011年9月1日の設立以来、着実に公益事業活動の幅を広げ、2015年7月1日には内閣総理大臣より「公益財団法人」としての認定を受けました。今後もますます地域の皆様のお役に立つよう、まい進して参ります。つきましては、当財団の活動意義をご理解いただき、さらなるご支援をお寄せ下さいますよう、心よりお願い申し上げます。

◎当財団への寄附金は、特定公益増進法人への寄附金として税法上の優遇措置が受けられます。

ご寄附のお申し込み方法

こちらのQRコードからご寄附をお申し込みいただけます。

ご質問などの詳細事項は、下記までお気軽にお問い合わせ下さい。



[お問い合わせ]

☎0562-45-2731 (受付時間 平日9:00～17:00)

FAX : 0562-45-2732

E-mail : info@sugi-zaidan.jp

[所在地]

〒474-0011 愛知県大府市横根町新江62番地の1

お問い合わせの内容、お時間によっては、翌日以降のご回答となる場合がございますので、ご了承下さい。

詳しくはHPをご覧ください。

杉浦記念財団

検索



こちらからもHPへ
アクセスいただけます。